

平成 2 3 年度

教育行政執行方針



教育目標

上富良野町の教育は郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人づくりをめざします。町民が、生涯にわたって学び、家庭・地域・学校が互いに協力し、「生きる力」を育むよう次の目標を定めます。

- 1 知性を高め、一人一人のよさを伸ばし育てる
- 2 豊かな心と健やかな体を養い、感性を豊かに支えあう意識を育てる
- 3 自然や文化を大切にし、郷土を愛する心を育てる

平成23年度 教育行政執行方針

平成23年第1回定例町議会の開会にあたり、上富良野町教育委員会の教育行政の執行にかかわる主要な方針について申し述べ、町議会をはじめ町民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

はじめに

テレビ放送の地上デジタル化への切り替えが、この7月より完全実施されることから、3Dテレビをはじめ携帯電話や電子辞書などの機能は驚くほどの進化を遂げ、パソコンにいたっては、今や、仕事ばかりか一般の生活の中においても必需品といえる時代に突入しています。

この利便性を追求する流れは、今後ますます加速していくことが容易に想像できるところでありますが、反面、経済不況の流れは収まることなく、雇用不安や給与の削減、デフレなど、生活に直結する問題が多数継続しており、出口のなかなか見えない世情が続いています。

教育においても、小学校はいよいよ新学習指導要領が完全実施となり「子どもたちのさらなる生きる力の育成」をめざして「より質の高い教育」を実現しようとしているところでありますが、全国的な子どもたちの現状は、学力・体力の低下や家庭での虐待、学校でのいじめやそれによる不登校、さらには痛ましい自殺などが後を絶ちません。

このような状況を断ち切るためには、互いに連携し、知恵を出し合い、粘り強く問題解決に立ち向かう「賢くたくましい」人材の育成を強力に推進していかなければなりません。このことを当町教育行政の最重要課題とし、学校教育・社会教育のすべてにおいて取り組んでまいりたいと考えております。

そのために教育委員会といたしましては、町民憲章を踏まえ、先に策定した「上富良野町教育振興基本計画」並びに「教育目標」を基本として、自然豊かな地域の素材や人材を生かし、家庭・学校・地域が一体となった教育活動を大切に「次代を担う豊かな人づくり」を推進してまいります。

また、各施策の点検管理や執行状況を明らかにする「教育委員会評価」を行い、その取り組みをより効果的かつ、円滑に推進するよう努めてまいります。

学校教育の推進

学校教育においては、「新学習指導要領」並びに「上富良野町教育振興基本計画」を念頭に置き、「賢くたくましく生きる力」をもった子どもたちの育成のために「確かな学力」と「豊かな心」、「たくましい体」の向上を目指してまいります。

「**確かな学力の向上**」につきましては、過去4回の全国学力・学習状況調査などの結果において、当町の子ども達は全国平均にほぼ近い状況にあり、年度によってはそれを上回るところもみられています。これらのことから、基礎的学力や基本的な生活習慣の定着を確認することができています。しかしながら、国語の読解力や文章表現力、算数・数学の空間図形の理解や数学的な思考など、活用力・応用力においてはまだまだ課題が残っている状況でもあります。その課題の解決にむけて、引き続き基礎基本の定着と、それを活用した思考力・読解力・表現力などを向上させる取り組みを進めてまいります。

そのために、各学校においては、「全国学力学習状況調査」や「学校評価」などの結果をもとに、児童生徒の実態を踏まえながら独自の「学力向上プラン」を作成し指導強化への取り組みを進めているところであります。

また、当町においては子ども達の状況を引き続き検証していく必要があると判断し、全国学力学習状況調査を北海道と連携を図りながら、本年度も4月19日に町内全校で実施を予定しております。

さらに、表現力などの向上や家庭学習の充実を推進するため、学校・家庭・地域との連携協力を図りながら取り組んでまいります。

「豊かな心の育成」につきましては、道徳の時間を要として、お互いを尊重し支え合う態度や倫理観・規範意識そして自他の命の尊重など、当町の子ども達に定着しつつある「心」をさらに向上させる取り組みを推進してまいります。そのために、道徳教材の整備はもとより、総合的な学習の時間や特別活動の充実とキャリア教育の一環とした職場体験学習などを通し、多様な体験活動を促進させ、より多くの自然や人とのふれあいを深めて「心の教育」の推進に努めます。

また、「いじめ」などの防止に向けては、学校・家庭・関係機関との連携を密にし、各種の調査やアンケートなどを活用して、早期発見・早期の解決に努力してまいります。

「たくましい体づくり」につきましては、体力の向上を図るとともに、健康への意識や安全への意識の醸成などの望ましい生活習慣の向上に努めてまいります。

そのために、保健や体育の授業の充実はもとより、家庭や地域と連携しながら「早ね・早おき・朝ごはん」など、基本的な生活習慣のさらなる定着を推進してまいります。また、体力・運動能力ばかりでなく、自主性や協調性・忍耐力を高める少年団活動や部活動への支援にも努めてまいります。

新学習指導要領の完全実施につきましては、平成23年度から小学校が完全実施となりますが、改定に伴う全ての準備が整い、円滑なスタートを切るところであります。中学校においては平成24年度からとなっており、これからの1年間で、残る準備に万全を期してまいりたいと考えております。

以上の様々な方策とともに、開かれた学校・信頼される学校づくりをめざすために、家庭や地域の声をとりいれる外部アンケートの実施や学校関係者評価委員会、学校評議委員会などを通して、多くの声を生かした「充実した学校評価」の実施を推進してまいります。

児童・生徒の指導等につきましては、いじめや不登校、器物破損・暴力・薬物・虐待などでの問題が各地で依然としてあとをたちません。当町においては、学校・家庭・地域の努力と連携により、それらの事例は、継続して比較的少ない状況にあります。しかしながら、それぞれの問題の要素は今の時代において、どこにでも存在し、油断すると一気に崩れていくことが多々あることも事実です。

そうならないために、先に述べた「豊かな心の育成」への方策とともに、各校の日常教育活動において「子どもと子ども」「子どもと先生」の信頼関係のさらなる醸成を進めてまいります。

その手だてとして、教職員の指導力・人間力を高める「研修」の充実と、子ども達の目線にたった「教育相談体制」の充実を図ってまいります。上富良野中学校には引き続き「心の教育相談員」を配置するとともに、必要に応じて学校教育アドバイザーを保護者・地域との教育相談にも対応させてまいりたいと考えております。

また、中学校が行っている「薬物」や「携帯電話」にかかわ

る防犯教室の実施にも必要な支援を行ってまいります。

へき地・複式教育につきましては、地域の特色を生かし、個に応じた指導により、児童生徒の健全育成に効果をあげているところです。小規模校ならではの教育を今後とも継続してその充実を図ってまいります。

そのため、各校の特色ある取組や行事等への支援はもとより、へき地・複式教育の研究を進めている「上川南部地区へき地複式研究連盟」への積極的な支援も行っています。

江幌小学校においては、地域と一体となった特色ある教育を望む児童が、学区域をこえて就学できる「特認校」として、継続してその運営推進と情宣に努め、さらなる発展を目指してまいります。

また、他市町村と同様に当町においても児童生徒の減少は大きな課題となっており、職員定数が減となる東中中学校には校務の円滑化を図るため、町費で事務職員を配置いたします。

特別支援教育につきましては、障がいのある子ども達一人一人の教育的ニーズに対応した校内体制の整備をさらに進めるとともに、その指導法の充実に継続して努めてまいります。

そのため、個々のニーズに対応した人的支援が重要であることから、本年度は上富良野小学校と上富良野西小学校のほかに上富良野中学校にも「特別支援教育指導助手」を配置し、指導体制の充実を図ってまいります。また、上富良野小学校には、「病弱学級」の新設を行います。

さらに、上富良野町特別支援教育連絡協議会や就学指導委員会の活動を通して、関係者の連携や研修の機会を持ち、指導の充実と今後に向けた自立や進路・社会参加への支援を積極的に行ってまいります。

学校の危機管理につきましては、学校の内外を問わず、子どもを取り巻く悲惨な事件や不慮の事故などがあとを絶ちません。

当町においては、学校での日常の校内点検励行を促すとともに、情報交換の機能を密にするため、事件・事故等発生時の対応及び連絡経路について関係機関との共通理解と連携を図り、継続した取り組みを進めてまいります。

住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」をはじめ、「上富良野の青少年健全育成をすすめる会」や「生活安全推進協議会」など、地域総ぐるみでの協力体制を今後とも継続してまいります。また、状況に応じて各校教職員や教育委員会職員などによるパトロールも実施し、子ども達にかかわる安全確保、事件・事故発生の予防に努めてまいります。

教育環境の整備につきましては、国のスクールニューディール構想推進事業を受け、各学校や公共施設のテレビのデジタル化と校務用コンピューターの整備を行ってまいりましたが、本年度は、東中小学校のコンピューターの整備・更新を推進してまいります。

また、耐震診断に基づき、上富良野小学校校舎の改築基本設計及び上富良野西小学校体育館の耐震改修実施設計を実施し、安全・安心な学校環境の整備を図るとともに、教材備品の拡充を図るなどの学習環境整備も継続して取り組んでまいります。

学校給食につきましては、平成21年度から「富良野広域連合組織」による運営がなされております。

四季折々の新鮮な食材、旬の味覚を味わうことができる地場産食材を活用した「顔の見える学校給食」の提供とともに、施設設備の衛生管理・安全管理を徹底し、「安全でおいしい給食」の提供に努めてまいります。

また、時代の変化による食べ残しや偏食などの問題に対し、「もったいない」をスローガンとして、その運動推進に取り組んでまいります。

食育の一貫として行っている「お弁当持参の日」は、家庭の協力・家庭の工夫など、親子の絆につながるものとして今後も継続してまいります。また、栄養士による学校訪問も引き続き実施し、食事の意味・栄養バランスの大切さ・食事のマナーなどの指導を、学校との連携を図りながら充実させてまいります。

国際理解教育につきましては、現在、友好都市でありますカナダ・アルバータ州カムローズ市から英語指導助手を迎えて、学校教育・社会教育の両面で小・中学校の授業やサークル活動を通して国際理解教育の推進を図るとともに、上富良野町とカムローズ市との交流発展に努めているところです。

また、新学習指導要領による小学5年生・6年生の「外国語活動」においてもさらなる有効な活用を計画してまいります。

さらに、幼稚園・保育所への訪問や英会話教室などを利用し、幼児も含めた町民の皆様に、国際理解の輪を広げていただけるよう、その推進に努めてまいります。

姉妹校交流推進事業につきましては、平成9年7月の「上富良野西小学校」と三重県津市の「安東小学校」の姉妹校提携調印以来14年目を迎えますが、本年度は、西小学校から安東小学校への訪問を実施し、両校の交流と見聞をさらに深いものにしてまいります。

道立上富良野高等学校の振興につきましては、生徒数の確保が年々難しく、その存続を危ぶむ声が多方面から聞こえてくる状況でありましたが、昨年度においては高校の努力はもとより、

「上富良野高校教育振興会」「上富良野高校サポーターズクラブ」や「上富良野高校野球部を応援する会」など地元関係各位の様々な努力をいただき、定員を上回る入学生を確保することができました。

このことを上富良野高校存続の追い風として、上高生の学力向上や進路指導対策にむけて、新たにビデオ・オン・デマンドシステムの導入を支援してまいります。

地域に根ざした高校の存在は、子ども達や当町にとって大きな影響力を持っています。今後とも、この望ましい傾向を持続していくために、従来の資格取得の受験料補助などの支援はもとより、様々な支援策を模索しながら上富良野高校の振興・発展を目指してまいります。

社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、公民館や図書館、社会教育総合センターなどの社会教育施設を活用しながら、町民ひとりひとりに、生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し、社会教育基本方針にある「豊かな心と健やかな体を育み、潤いある地域づくりをめざす生涯学習」のさらなる推進に向けて、社会教育をすすめてまいります。

そのために、平成21年度に施行された第7次社会教育中期計画を基にし、家庭・学校・地域社会のそれぞれが持つ教育機能の充実や連携・融合を図りながら、具体的方策の実施・実現を進めてまいります。

家庭教育につきましては、家庭こそ、子ども達の人格形成に必要な「基本的生活習慣」と「調和のとれた心身」を育む教育の原点であります。このことから、「早ね・早おき・朝ごはん」運動などを通して、食事や睡眠などの大切さの理解を図り、「親

子の絆」と「健やかな子育て」の向上をめざして、多様な学習機会や情報の提供と、本の読み聞かせや芸術鑑賞などの情操を豊かにする取り組みなど、地域の教育力も活用させていただきながら、その充実を図ってまいります。

また、家庭教育学級や子育てサークルなどを通しての相談活動や交流活動・スポーツ活動などを積極的に支援し、明るく安心して子育てを進められる家庭づくりに努めてまいります。

さらに、毎月第3日曜日の「道民家庭の日」の啓発や普及促進を図り、当町の家庭の教育力のさらなる向上を推進してまいります。

青少年教育につきましては、次代を担う青少年のスポーツや文化活動の推進を図るため、子ども会やスポーツ少年団、青少年団体協議会などの自主的活動を尊重し、継続して支援・協力を行ってまいります。

将来の地域のリーダーづくりを目指して、「なかよしサミット」や「青少年交流事業」などを通して、小・中・高校生を対象とするジュニアリーダー育成事業を推進してまいります。

また、地域・PTA・関係機関の協力をいただいている「学校支援ボランティア」の活動や「青少年健全育成をすすめる会」などによる活動を通して、青少年が健やかに育つ環境・町づくりを継続して行ってまいります。

放課後プラン事業につきましては、保護者・学校・地域などに理解を得ながら、子ども達の放課後の「より安全で安心な居場所づくり事業」として放課後スクールと放課後クラブを引き続き運営してまいります。

地域の方々のさらなるご協力を得ながら、学校や保健福祉部局と連携し、上富良野の子ども達を健全に守り育てる事業とし

て推進してまいります。また、この事業をより円滑にするにあたり、日々子ども達のお世話をいただく人材の確保に、今後とも努めてまいります。

成人・高齢者教育につきましては、成人の方々の自主的なサークル活動への支援と各種学習機会の開設などに取り組み、その学習活動の活性化に努めてまいります。

成人女性を対象とした女性学級と、「若く老いよう」を合言葉にした高齢者対象の「いしずえ大学」を引き続き開設し、健康で明るい生活を築く学びの機会を提供するとともに、生きがいづくりと社会参加の促進を図ってまいります。

また、「いしずえ大学生」が自主的に運営する自治会活動の支援をしてまいります。

さらに、成人者や高齢者の方々が培った知識や技能を、各種の学習活動・体験活動に生かし伝えていただくなど、積極的な関わりの中で、学びあい支え合う人づくり・町づくりを進めてまいります。

文化芸術の振興につきましては、人々の心に安らぎと潤いをもたらすことを目標に、美術展覧会や音楽・舞台芸術の公演などを文化団体や愛好者と連携し、優れた芸術・芸能・文化に触れる機会の充実を図ってまいります。

また、町民の皆様が心の豊かさを求めて日常的に練習を行っている文化芸術活動の発表の場として、子どもから大人までを対象とした総合文化祭を開催し、自主的な発表の機会を支援するとともに、地域文化の継承と発展を目指してまいります。

図書館の運営につきましては、蔵書検索システムを活用し、道立図書館や近隣図書館などとの連携により、引き続き利用者

の利便性を図ってまいります。

また、町内小・中学校の学校図書室と図書館が情報を共有し、図書の有効活用を図ってまいります。

子ども達の読書への関心を高めるため、児童書の充実を図るとともに、本とふれあう機会の拡大をめざし、乳児期には絵本に触れるきっかけづくりのブックスタートや各小学校等への移動図書活動を継続してまいります。また、読み聞かせ活動など、本を活かした学習活動に協力いただいているボランティア団体への活動支援も引き続き行ってまいります。

本年度は、「子ども読書推進計画」を策定し、子どもがその成長に応じて読書に親しめる環境づくりなど、読書推進活動に必要な方策を講じてまいります。

様々な機会を通して、町民の皆様のご意見・ご希望を広く聞き、「町民に親しまれる図書館」をめざして、今後とも取り組んでまいります。

郷土館につきましては、昨年度の収蔵物情報のデータ化をさらに進め、その整理を行い、郷土学習に活用が図られるようインターネットなどを通じて情報提供をしてまいります。

また、総合文化祭で「郷土館特別展示」を開催し、多くの町民の皆様にご観覧いただき、郷土の歴史などについての造詣をさらに深めていただけるよう、充実に努めてまいります。

スポーツ振興につきましては、スポーツは、人格の形成、体力の向上や心身の健康保持増進に寄与するとともに、私たちに多くの夢や大きな感動、楽しみを与え、活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない大切な役割を果たしております。

このため、それぞれの体力や年齢に応じた多様なスポーツや体

力増進に取り組むことができるよう、各種スポーツ大会を開催するほか、地域や各スポーツ団体との連携を図りながら、指導者への支援を行います。また、競技スポーツの競技力向上や各種スポーツ団体の自主的な活動の支援に努めてまいります。

スポーツ施設の管理運営につきましては、利用者ニーズの多様化に応え、施設の有効利用が図られるようスポーツ団体や地域との協議を行い、適正な管理運営を目指します。また、学校の協力のもと引き続き学校開放事業を実施してまいります。

社会教育施設につきましては、町民の社会教育活動の場として、本年度は、公民館大ホールの机の更新、運動公園多目的広場・野球場の整備など、施設の適切な維持管理をはじめ、指定管理者や関係団体との連携を十分に図りながら、多くの町民の方々に利用していただけるよう努めてまいります。

おわりに

以上、平成23年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げましたが、本町の教育・文化・スポーツの振興と生涯学習社会の構築と「豊かな人づくり」に向けて最善の努力を傾けてまいります。

議員並びに町民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

平成23年3月7日
上富良野町教育委員会